

令和4年11月14日

川内原子力規制事務所

令和3年度 原子力規制検査結果の概要

検査は、検査対象に対して適切な検査運用ガイドを使用して実施した。

検査対象については、原子力検査官が事前に入手した現状の施設の運用や保安に関する事項、保安活動の状況、リスク情報等を踏まえて選定し、検査を行った。

検査においては、事業者の実際の保安活動、社内基準、記録類の確認、関係者への聞き取り等により活動状況を確認した。

検査結果（上半期）

	第1四半期	第2四半期
実施期間	令和3年4月～6月	令和3年7月～9月
日常検査	<p>14項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計管理 ・ 動作可能性判断及び機能性評価 ・ 重大事故等対応要員の能力維持 など 	<p>16項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保全の有効性評価 ・ サーベイランス試験 ・ 火災防護 など
チーム検査	なし	なし
指摘事項	なし	なし

検査結果（下半期）

	第3四半期	第4四半期
実施期間	令和3年10月～12月	令和4年1月～3月
日常検査	<p>17項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業管理 原子炉起動・停止 自然災害防護 <p>など</p>	<p>20項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期事業者検査に対する監督 原子炉起動・停止 燃料体管理 <p>など</p>
チーム検査	<p>6項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 供用期間中検査に対する監督 重大事故等対応要員の訓練評価 <p>など</p>	<p>4項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用前事業者検査に対する監督 放射線モニタリング設備 <p>など</p>
指摘事項	<p>2件</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災感知器の不適切な箇所への設置 弁の不適切な施錠管理 	なし